

太い! 甘い! 柔らかい! の三拍子



名寄市長がアスパラをPR

7日、杉並区役所では毎年恒例の「なよろアスパラまつり」に名寄市の加藤剛士市長が登場。市長から保育園児18名に、名寄市特産品のひまわりをプレゼントするセレモニーが行われ、園児らの顔に笑顔の花が咲きました。その後、加藤市長と杉並区の田中区長が店頭立ち、名寄市特産品のアスパラのPRを行いました。まつりは明日までで、同時に区役所1階ロビーで、名寄市の風景写真の展示もお楽しみいただけます。

杉並区の交流自治体の一つである名寄市は北海道北部の内陸に位置し、農業が基幹産業です。中でもグリーンアスパラは、日本有数の収穫量・作付面積を誇っています。盆地特有の寒暖差と太陽の光をいっぱい浴びた名寄のアスパラは、太くとても甘くて柔らかいと評判で、区ではその味を知ってもらうために、毎年収穫時期に合わせて「なよろアスパラまつり」を開催しています。また名寄市は、市内各地にひまわりが植えられ、その面積は60ヘクタール（東京ドーム13個分）、総本数は500万本以上となることから、「ひまわりのまち」としても知られています。まつりと同時に、区役所1階のロビーでは、名寄市の四季折々の魅力を伝える写真も展示されています。

午前11時50分、加藤剛士名寄市長と田中良杉並区長が揃いの法被姿で登場。区役所近隣の、のはら保育園の園児18名に、ひまわりを贈呈するセレモニーが行われました。園児らにプレゼントしたのは、30cmほどの茎の上に花を咲かせる「グッドスマイル」という品種で、子供の目の高さでも楽しめる鉢植えのひまわりです。加藤市長は園児一人一人に鉢植えを手渡し、受け取った園児たちは「お水をあげるね」と、そのひまわりの名前の通り、うれしそうな笑顔を見せていました。



その後、加藤市長と田中区長が店頭立ち、名寄市の自慢のアスパラを手し、その美味しさを大きな声でPRすると、多くの買い物客が集まりました。

アスパラの販売価格はLサイズ14～15本・2Lサイズ7～8本がそれぞれ税込500円で、ほかにも、大福やもち米入りベーグルなどを数量限定で販売します。まつりは明日までの開催ですが、売り切れ次第終了のため、午前中にお越しになることをお勧めします。北海道の大地が生んだ美味しさを、ぜひご家庭でお楽しみください。

